

事務 事業名	コード1	0957	いいおかけんこうセンター管理費	課	健康管理課		
	コード2		【0958いいおかけんこうセンター活動費を含む】 ☐ 主要事業	所属班	予防班		
				電話番号	63-8766	内線	7140
政策 体系	基本方針	3	健やかでやすらぎのあるまちづくり	予算	会計		
	施策	1	保健の充実	科目	一般会計		
	施策の展開	1	健康づくりの推進	根拠	旭市健康増進センターの設置及び管理に関する条例		
	基本事業	125	健康・体力づくりの推進	法令			

1 現状把握(Do)

(1)事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 15 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述⇒	いいおかけんこうセンターで利用者は設備を利用して運動できる。(広さ150㎡) 開館時間8時30分～17時15分(水・金は21時まで)、休館日:月、年末年始 内容:①有酸素運動(呼吸しながら楽に運動する。例エアロバイク)②無酸素運動(各種マシンを利用した筋力アップ運動)③健康運動教室(週3コース) 利用料金:市内1回200円・月1,000円、市外1回300円、月1,500円 15歳以下及び医師からの指導等がある場合は使用できない。 【業務の流れ】 1、計画 2、委託 (①申請・受付 ②利用者説明会(一人1-2時間程度、施設の利用説明及び体力測定) ③個別利用者への指導 ④教室の実施 ⑤報告書作成) 3、その他(利用申請者の可否手続き、活動物品の管理、健康相談、報告書管理)

(2)トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
〔管理費〕407千円 ・警備委託料214千円 ・諸借上料81千円 ・その他112千円 〔活動費〕6,264千円 ・受付業務委託料1,873千円 ・トレーニング指導員派遣委託料4,017千円 ・機械借上料246千円 ・その他128千円		事業費						
		財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	839	762	667	732	
		一般財源	千円	8,036	5,008	6,004	7,002	
		事業費計(A)	千円	8,875	5,770	6,671	7,734	0
		正職員従事人数	人	0.06	1.06	0.23	0.06	
		延べ業務時間	時間	120	2,135	456	120	
		人件費計(B)	千円	456	6,098	1,397	456	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	9,331	11,868	8,068	8,190	0
施設管理:2h×12月=24h 利用者管理・事務:8h×12月=96h 受付事務 1名×336h(23年度は4～5月の2ヶ月)								

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 利用者説明会の実施 個人利用者への個別指導(プログラム作成等) 教室の実施 その他利用者管理	ア 利用者数	人	8,290	8,093	6,904	7,000		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 同じ	イ							
		ウ							
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	15歳以上の者で健康状態が適当な者(市外者含む)で健康増進センターの利用を希望する者	ア 新規登録数(海上・飯岡)	人	307	251	236	250		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	利用者の体力がつき健康になる。	ア 利用者数(延) ()	人	8,290	8,093	6,904	7,000		
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	運動習慣のある市民が増える	ア 運動習慣のある者の数 (特定健診受診者の同問診項目の集計結果)	人	-	2,567	2,689	2,700		
		イ ()							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
介護予防拠点整備事業費補助金を活用し、トレーニング機器を使用し高齢者の介護予防はもとより青壮年層を対象とした生活習慣病予防を目的として設置された。	・運動指導は、市直営ではなく委託して実施、平成20年度からは一部利用者負担を徴収し、市外の利用者も可能とした。 ・利用者は60歳以上が多く、やや男性が多く推移している。	利用者からの意見として、次があった。 ・利用者負担を見直してほしい(高齢者の負担軽減)

事務事業名	いいおかけんこうセンター管理費 【0958いいおかけんこうセンター活動費を含む】	課名	健康管理課	班名	予防班
-------	---	----	-------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他（民間・国県を含む）に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (1) 事務事業名：（健康づくり運動推進事業） (2) ☒ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】
	⑦ 事業費の削減余地（表面トータルコストの事業費部分） 事業費を削減できないか？（経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地（表面トータルコストの人件費部分） やり方の工夫（業務プロセスの改善など）や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) ・健康への関心の高い60歳以上の利用者が全体の60%以上を占めて推移しているのが特徴である。 類似施設があるので統廃合の検討が必要である。
--	---

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性 ☒ 目的再設定 ☐ 行政関与の見直し ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☒ 事業統廃合・連携(関連事業:健康づくり運動推進事業) ☒ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 費用負担の適正化 ☐ 廃止・休止 (2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①平成24年度中に市内の運動施設の委託・管理について一本化に向けて協議する。。 ②参加者の声を取り入れ魅力ある教室を企画し、参加者を増やすよう検討する。 ③ ③ (4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①関係課で協議する方針。(施設は当初介護予防の目的でスタートしたが、現在は健康づくりが利用の目的である。施設の効率利用に向けてどう調整するか) ② ③		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						